R7保護者アンケート(1回目)の結果 保護者用

4=よくあてはまる 3=ややあてはまる 2=あまりあてはまらない 1=あてはまらない

R7.7月

	項 目	4	3	2	1	【平均】
1	学校教育目標を知っていますか。	5	9	1	2	3.0
2	学校は、子どもたちに楽しく、分かりやすい指導をしていると思いますか。	10	7	0	0	3.6
3	お子さんは、家庭での学習に進んで取り組み、学習習慣が定着していますか。	2	12	2	1	2.9
4	お子さんは、家庭で進んで読書をしていますか。	4	7	3	3	2.7
5	ご家庭では、基本的な学習習慣や生活習慣が身に付くように言葉かけをしていますか。	4	13	0	0	3.2
6	学校は、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むための取り組みをしていると思いますか。	9	8	0	0	3.5
7	ご家庭では、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むための取り組みをしていると思いますか。	9	8	0	0	3.5
8	学校は、いじめ防止(なかよしアンケートの実施、児童との面談など)の対策を行い、いじめが起きた場合は、迅速に対応していますか。	6	11	0	0	3.4
9	お子さんは、毎日楽しく学校に登校していると思いますか。	12	5	0	0	3.7
10	ご家庭では、お子さんの話を聞いたり、一緒に活動をしたりするなど、ふれあいの時間をもたれていますか。	8	8	1	0	3.4
11	学校は、地域や社会の様々な人と一緒に体験する活動を仕組んでいると思いますか。	11	6	0	0	3.6
12	ご家庭では、外遊びを推奨したり、一緒に運動をしたりされていますか。	1	11	4	1	2.7
13	お子さんは、家でも食後の歯みがきをしていますか。	4	13	0	0	3.2
14	お子さんは、毎日「早寝・早起き・朝ごはん」ができていますか。	3	12	2	0	3.1
15	学校は、安全指導(交通安全や火災・地震・不審者対応など)を定期的に行っていますが、ご家庭でも緊急時の対応についての話をされていますか。	3	8	5	1	2.8
16	学校便りや授業参観等でお子さんの学校での様子や授業の様子を知ることができましたか。	9	8	0	0	3.5
17	小学校と中学校が連携して活動していることを知っていますか。	9	8	0	0	3.5
18	お子さんのことで困ったことがあった時には、気軽に学校に相談できますか。	9	8	0	0	3.5

・18項目中11項目で、100%の保護者が「よくあてはまる」「ややあてはまる」と肯定的な回答をされています。また、9「楽しく登校」は、平均3.7ポイントと最も高く、次いで2「分かりやすい指導」11「地域との連携」が3.6ポイントと高い評価でした。このことから、保護者の本校への教育活動に対する理解や地域を含めた学習活動に対して、良好な信頼関係がうかがえ、感謝いたします。

・一方、3「家庭学習の定着」、4「家庭での読書」、12「外遊び」、15「家庭での安全指導」については、肯定的な評価が3ポイントを下回り、家庭での指導や働きかけに対して厳しく評価されていました。学校側もさらに家庭との連携を強化し、情報提供しながら学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの指導にあたっていきたくと思います。

・4「家庭での読書」12「外遊び」については、昨年度と同様、平均2.7ポイントで全項目中、低い評価となりました。校内での読書推進と合わせて、家庭での読書量を増やす手立ても考え、家庭と協力していきたくと思います。また、外遊びについては、地域性により放課後友達と過ごすことが難しい児童や家庭でのSNS等での娯楽の増加が低い評価の原因と考えられます。今後、外遊びの推奨をお願いします。

R7児童アンケート(1回目)の結果 児童用

4=よくあてはまる 3=ややあてはまる 2=あまりあてはまらない 1=あてはまらない

R7.7月

	項目	4	3	2	1	【平均】
1	せんせい がっこう べんきょう わ おし 先生は、学校の勉強を分かりやすく教えてくれますか。	13	4	0	0	3.8
2	じゅぎょうちゅう しゅうちゅう がくしゅう と く 授業中は、集中して学習に取り組んでいますか。	11	6	0	0	3.6
3	かてい がくしゅう すず と く 家庭での学習に進んで取り組んでいますか。	12	3	2	0	3.6
4	すす どくしょ と く 進んで読書に取り組んでいますか。	14	2	1	0	3.8
5	がくしゅう どうぐ がっこう も 学習道具をわすれずに学校へ持ってきていますか。	9	6	1	1	3.4
6	だれ へんじ 誰にでもあいさつや返事をする事ができていますか。	16	1	0	0	3.9
7	い 「ありがとう」や「ごめんなさい」を言う事ができていますか。	16	1	0	0	3.9
8	せんせい 先生は、あなたのよいところをほめてくれますか。	11	6	0	0	3.6
9	しょうらい ゆめ もくひょう も 将来の夢や目標を持っていますか。	13	3	0	1	3.6
10	しず みぎがわ ある ろうかは静かに右側を歩く事ができていますか。	9	7	1	0	3.5
11	とも たす あ たの せいかつ 友だちとなかよく助け合って、楽しく生活する事ができていますか。	15	2	0	0	3.9
12	こま とき せんせい かぞく とも そうだん 困った時は、先生・家族・友だちなどに相談する事ができますか。	13	3	1	0	3.7
13	そと げんき あそ すず と く 外で元気に遊んだり、進んで「げんきタイム」に取り組んだりしていますか。	14	3	0	0	3.8
14	まいにち はや はや あさ 毎日「早ね・早おき・朝ごはん」ができていますか。	11	6	0	0	3.6
15	す きら しよじ 好き嫌いなく食事をしようとしていますか。	12	3	2	0	3.6
16	こうつう じこ き あんぜん せいかつ 交通事故やけがに気をつけて、安全な生活ができていますか。	15	2	0	0	3.9
17	ちゅうがっこう せんせい ちゅうがくせい かつどう 中学校の先生や中学生といっしょに活動することはすきですか。	13	3	1	0	3.7
18	ちいき ひと かつどう たの 地域の人とふれあう活動は、楽しいですか。	13	3	1	0	3.7

・18項目中9項目で、100%の児童が「よくあてはまる」「ややあてはまる」と肯定的な回答をしています。中でも、6「あいさつ、返事」7「ありがとう、ごめんなさい」11「友だちとなかよく」16「安全な生活」については3.9ポイントと特に高く、子どもたちが思いやりや優しさをもって、心身ともに安全、安心に生活していることがうかがえます。

・一方、3「家庭学習」5「道具忘れ」15「好き嫌いなく食事」については、「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答している児童が複数いることに注視する必要があります。学校と家庭などがさらに連携を密にし、日ごろからコミュニケーションを図りながら指導する必要があると感じました。

R7職員アンケート(1回目)の結果 教職員用

4=よくあてはまる 3=ややあてはまる 2=あまりあてはまらない 1=あてはまらない

R7.7月

項 目		4	3	2	1	【平均】
1	学校教育目標や学校経営方針を学級経営に反映している。	6	3	0	0	3.7
2	教材研究を十分に行い、今年度の研究内容を意識した授業に取り組んでいる。	2	6	1	0	3.1
3	進んで学ぶ児童の育成を行うことができている。	3	6	0	0	3.3
4	一人一台端末を活用し、児童が自分にふさわしい学び方や学習方法を身に付けられるよう工夫している。	2	7	0	0	3.2
5	教育活動全体を通じて、礼儀・思いやり・感謝の気持ちを育むようにしている。	6	3	0	0	3.7
6	学校のきまりや月のめあてが徹底するよう指導を行っている。	4	5	0	0	3.4
7	日常の観察や聞き取り調査、定期的な「なかよしアンケート」の結果をもとに、いじめの未然防止に努めている。	6	3	0	0	3.7
8	児童のがんばりを認め、自己肯定感を高めるための指導を心がけている。	6	3	0	0	3.7
9	児童に将来の夢や目標について考える機会を設けた指導を行っている。	3	3	3	0	3.0
10	他の職員と連携しながら、児童や保護者への生活指導や対応等を行っている。	4	4	1	0	3.3
11	地域や社会の様々な人と一緒に体験する活動を仕組んでいる。	4	4	1	0	3.3
12	外遊びを奨励したり意欲的に「げんきタイム」に取り組めるようにしたりしている。	6	3	0	0	3.7
13	「早寝・早起き・朝ごはん」の指導や計画的な食育指導を行っている。	4	5	0	0	3.4
14	日頃から児童の危機対応能力を高める指導を行っている。	4	5	0	0	3.4
15	勤務時間を意識して仕事に取り組んでいる。	5	2	2	0	3.3
16	学級便りを発行したり、保護者と連絡を取り合ったりして、児童の学習や生活の様子等の情報を共有している。	4	4	1	0	3.3
17	学習指導において、9年間の学びの連続性を意識して授業を行っている。	2	4	3	0	2.9
18	特別支援教育についての研修を深め、学級の指導に生かしている。	4	4	1	0	3.3

・18項目中9項目で、100%の職員が「よくあてはまる」「ややあてはまる」と肯定的な回答をしています。中でも、1「学校教育目標を反映した学級経営」5「子どもたちの礼儀・思いやり・感謝の気持ちの育成」7「いじめの未然防止」8「自己肯定感を高める指導」12「外遊びの奨励」については、平均3.7ポイントと評価が高く、日頃から共通理解のもと、職員が一丸となって子どもたちの指導・支援にあたっていることがうかがえます。

・一方、17「連続性を意識した9年間の学び」については、唯一3ポイントを下回っており、さらに中学校との連携を深めながら連続した学びのあり方を研鑽する必要があります。また、9「将来の夢や目標について考える機会」15「勤務時間の意識」についても「あまりあてはまらない」と感じている職員がおり、キャリア教育の推進やワークライフバランスを考えた働き方についても意識していきたいと思えます。